

第32回デザイン分科会 議事録

期日 令和5年6月15日（木）、16日（金）

会場 【1日目】福島県ハイテクプラザ会津若松技術支援センター
（〒965-0006 会津若松市一箕町鶴賀字下柳原88-1）

【2日目】美工堂 Human Hub 天寧寺倉庫
（〒965-0804 会津若松市天寧寺町7-38）

主催 産業技術連携推進会議 ライフサイエンス部会 デザイン分科会
国立研究開発法人 産業技術総合研究所
福島県ハイテクプラザ会津若松技術支援センター

例年持ち回りで開催している産技連ライフサイエンス部会デザイン分科会（春季大会）を福島県で開催した。令和5年5月8日に新型コロナウイルス感染対策が緩和され、現地参加型の開催となり、初日の本会議参加者は総勢43名、2日目の講演会と視察見学会には31名の参加と大変盛況であった。以下に詳細を示す。

【1日目】6月15日（木）13時～17時 本会議（出席者43名）

開会（司会進行 福島県ハイテクプラザ会津若松技術支援センター

産業工芸科長 安藤 久人）

1. 挨拶

デザイン分科会長の岡村氏（千葉県産業支援技術研究所）、産総研の宮田氏、当所 所長の山崎から挨拶をいただいた。

デザイン分科会会長 岡村 成将

産業技術総合研究所 宮田 なつき

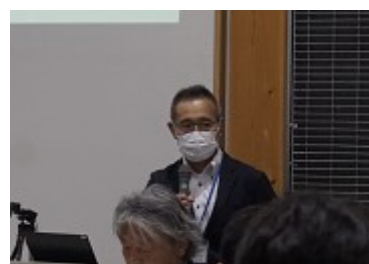
福島県ハイテクプラザ会津若松技術支援センター所長 山崎 智史



岡村会長



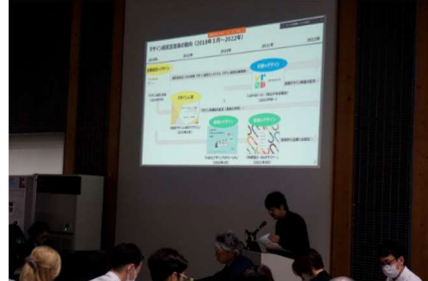
産総研 宮田様



山崎所長

2. 講演「経済産業省デザイン制作室の取組について」

経済産業省 商務・サービスグループ デザイン政策室 室長補佐 原川 宙
経産省 デザイン政策室 原川室長補佐から、経済産業省が取り組むデザイン政策の方向性や、関係する補助事業、10月に開催するデザインの強化月間などの紹介があった。



経済産業省の取組についてのご講演

3. 指示・連絡事項・提案要望事項

分科会の開催方法や幹事の変更、要領や細則の改変についての提案があった。

4. 研究交流会

研究交流会毎に、各機関の取り組みや情報提供・意見交換が行われた。

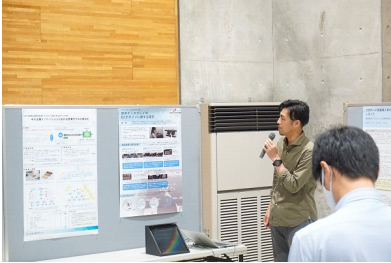
地域デザイン振興研究交流会
ものづくりデザイン研究交流会
ユニバーサルデザイン研究交流会
デザイン活用ツール研究交流会



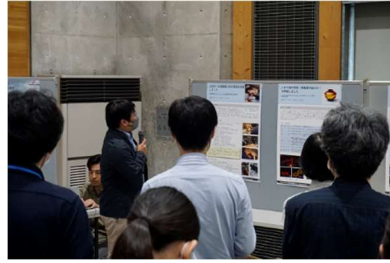
研究交流会の様子

5. ポスターセッション

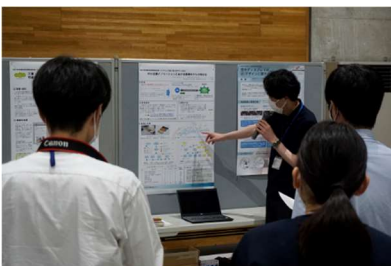
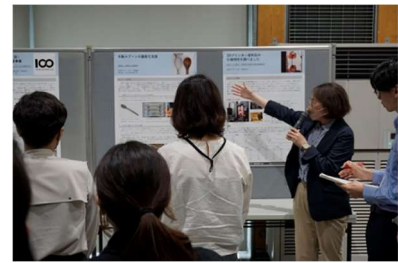
北海道、岩手、山形、福島、東京、静岡、広島から11名、15件のポスター発表が行われた。担当者から各地域の取組について説明が行われ質疑応答など活発な交流となった。



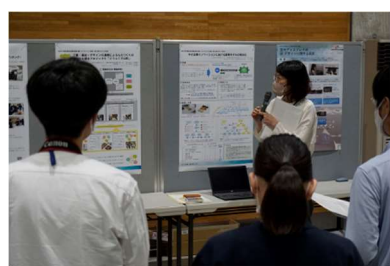
北海道



岩手県



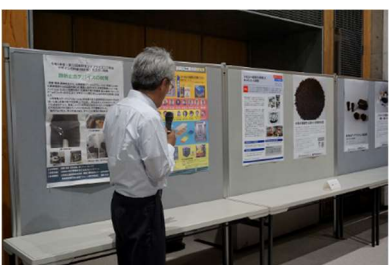
山形県



福島県



東京都



静岡県



広島県



会場の様子

6. 全体会議

Slack の活用方法について説明があった。また、会の要領や細則の改変や幹事の輪番の変更について議論された。これらについては、各所属で調整しないとこの場で結論を出すのは難しいとの意見が出た。後日、分科会長から改正案の提示や回答用紙をメーリングリストで配布し、機関ごとに意見をまとめて分科会長へ提出することとなった。

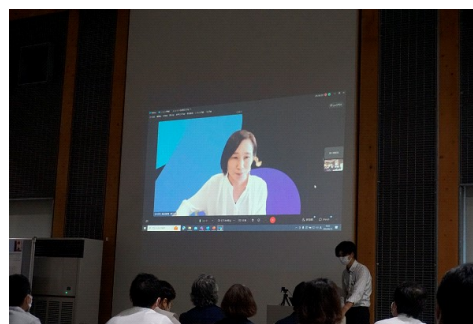


全体会議の様子

最後に、本年度秋季大会幹事の静岡県工業技術研究所ユニバーサルデザイン科 科長長澤 様、次年度幹事の石川県工業試験場 デザイン開発室 余久保 様から挨拶をいただき閉会した。



静岡県様ご挨拶



石川県様ご挨拶

【2日目】6月16日（金）10時10分～11時30分 講演及び視察見学会
場所 美工堂 Human Hub 天寧寺倉庫（出席者31名）

（株）関美工堂の関社長から、主に漆工の歴史や、企業と会津若松を中心とした地域との連携、そして特に若い職人やデザイナーのステップを支援する「Human Hub 天寧寺倉庫」の取り組みについて講演をいただいた。講演後、各参加者から、地域の工芸を支援する悩みや、漆職人等を支援する特徴的な取り組みへの質問、従来の徒弟制度が現代に通用しなくなっている課題などについて活発な意見交換がなされた。

講演会后、木工や漆工、食品製造等のレンタル工房やスタートアップの貸店舗の見学を行った。



講演会



質疑応答



視察見学



デザイン分科会(2日目) 講演会および視察見学会